



R6.7月「GBNet 福岡」設立



R7.8月 中古 EV リース事業開始

令和7年10月30日

循環型社会推進課
直 通：092-643-3381
内 線：3494
担 当：高木

全国初！GBNet 福岡参画企業による物流実証スタート！

～ EV バッテリーのサステナブルな資源循環に向けて～

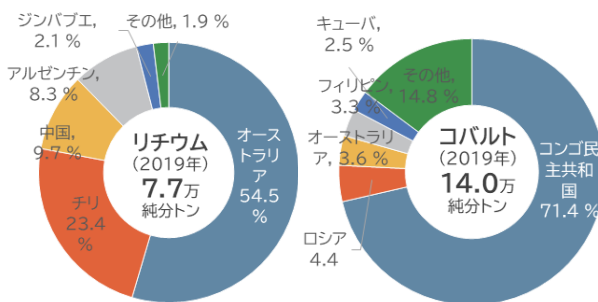
EV バッテリーの資源循環システム「福岡モデル」の構築に向け、本県が代表となり申請した「EV バッテリー資源循環の流通基盤構築に関する実証事業」が、この度、国土交通省が公募した補助事業「地域連携モーダルシフト等促進事業」に採択されました。

本事業では GBNet 福岡参画企業と連携しながら使用済 EV バッテリーの流通基盤整備に関する具体的な実証計画を策定し、今後の本格的な実証につなげてまいります。

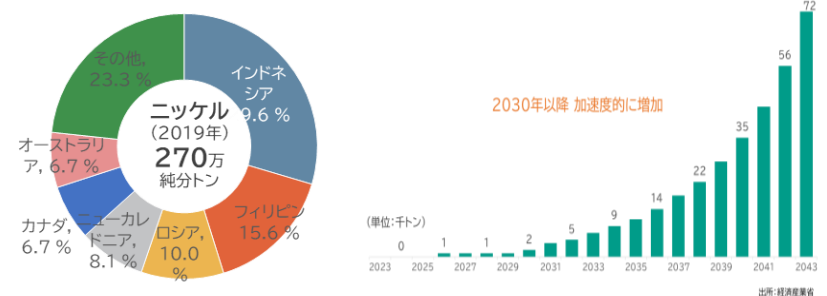
1 事業実施の背景と目的

- EV の普及が進む中、使用済 EV バッテリーの増加と、それに伴う資源循環の必要性が喫緊の課題となっている。特に、EV バッテリーの製造に必須なレアメタルは国際的な資源競争が激化しており、その安定確保は、今後の EV 社会を支える上で不可欠。

■EV に必須なレアメタルは海外からの輸入に依存



■国内の使用済バッテリーの発生量推計



- 本県では、こうした課題にいち早く着目し、昨年7月に官民連携組織「GBNet 福岡」を設立。全国に先駆けて EV バッテリーの資源循環システム「福岡モデル」の構築に着手し、本年8月に中古 EV の海外流出抑制のため「サステナ EV」事業を開始するなど、積極的に取り組みを進めている。
- 本補助事業は、これらの取り組みをさらに具体化・加速させるもので、今後急速な増加が見込まれる使用済 EV バッテリーの回収・運搬・診断・選別・再利用といった一連のプロセスにおいて、持続可能で効率的な流通基盤を構築することを目的とする。

2 実証事業の概要

今回の国土交通省補助事業では、本県が推進する「福岡モデル」の実現に向けた「EV バッテリー資源循環の流通基盤構築に関する実証事業」を実施するもの。

本実証では、以下の3つの主要な柱に基づき、使用済 EV バッテリーの資源循環システムの確立を目指す。

(1) バッテリー循環流通の物流機能最適化

- ・使用済 EV バッテリーの効率的な収集、運搬、保管、そしてリユース・リサイクル拠点への配送に至るまで、混載輸送などの物流効率化、バッテリー個品管理の付加価値サービスなどを提供して資源循環流通に必要な物流機能を構築する。

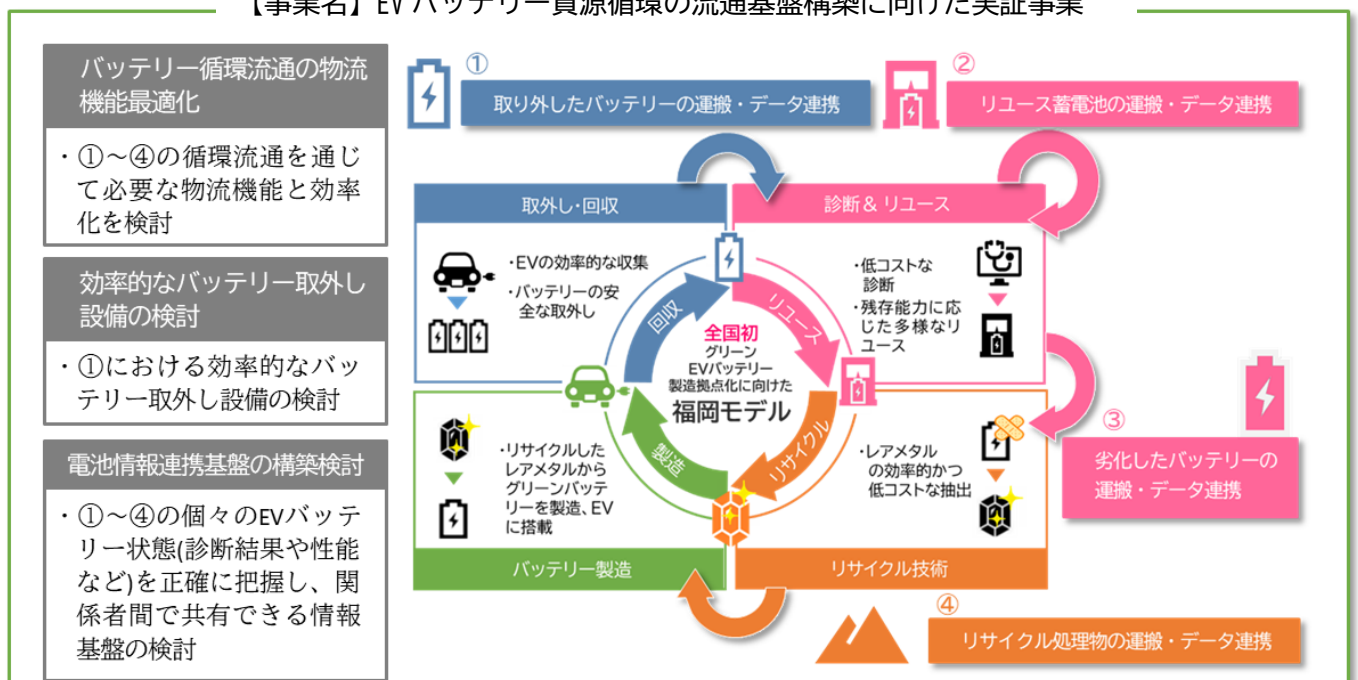
(2) 効率的なバッテリー取り外し設備の検討

- ・EV からのバッテリー取り外し作業を安全かつ効率化し、EV バッテリー循環流通の起点となる回収機能の構築を図る。

(3) 電池情報連携基盤の構築検討

- ・個々の EV バッテリーの状態（診断結果や残存性能など）を正確に把握し、関係者間で情報共有できる基盤を検討。
- ・これにより、効率的なリユース・リサイクル、トレーサビリティの確保が可能となる。

【事業名】EV バッテリー資源循環の流通基盤構築に向けた実証事業



3 実施体制

企業・団体名	役割
福岡県【代表申請者】	GBNet 福岡との連携窓口
(公財)福岡県リサイクル総合 研究事業化センター	本協議会の検討会運営
ロジスティード(株)	EV バッテリーの循環利用向け物流機能を構築
カウラ(株)	EV バッテリーのリユース/リサイクルに必要な情報の連携システム構築検討
西日本オートリサイクル(株)	EV バッテリーの回収、供給の検討
吉川工業(株)	EV バッテリー取外し解体装置の検討

【参考1】国土交通省「地域連携モーダルシフト等促進事業」について

- ・実施主体：国土交通省 物流・自動車局 物流政策課
- ・事業内容：地域の産業振興を担う地方公共団体等と連携した、持続可能な物流ネットワーク再構築に対する取り組みを支援するもの。
- ・事業費：上限額 2,500 万円（検討経費）
- ・補助率：定額
- ・事業期間：令和8年2月13日まで

【参考2】「GBNet 福岡（グリーンEVバッテリーネットワーク福岡）」について

- 今後急速な増加が見込まれる使用済 EV バッテリーの資源循環モデルを全国に先駆けて構築するために、昨年7月に設立した官民連携組織。



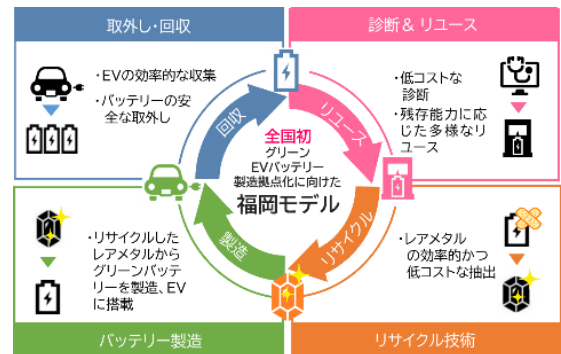
（会員） 39 社・団体

（構成）自動車メーカー、バッテリーメーカー、自動車解体業者、バッテリー診断業者、リユースバッテリー業者、再エネ業者、金属リサイクル業者等

（事務局）福岡県、（公財）福岡県リサイクル総合研究事業化センター

【参考3】「福岡モデル」について

- 福岡県が全国に先駆けて構築を目指す、EV バッテリーの「取外し・回収→診断&リユース→リサイクル→バッテリー再製造」という一連の資源循環を、地域内で完結させることを目指したシステム。



【参考4】中古EVリース事業「サステナEV」について

- 中古EVが海外に流出し、レアメタルが国外に流出する課題に対し、国内での中古EVの利用を推進するために本年8月から開始した、自治体としては初の中古EVリース事業。
（※応募者多数のため、募集締切）

